

中野駅周辺におけるエリアマネジメントについて

1 エリアマネジメント導入の背景・意義

- エリアマネジメントとは、特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営を積極的に行おうという取り組みである。
- 中野駅周辺では、100年に一度と言われるまちづくりが展開されており、100年先を見据えたまちの将来像を実現するには、まちづくり方針等に基づく基盤整備とともに、完成したまちを持続的に維持・発展させるエリアマネジメントの仕組みの導入が必要である。
- 中野駅周辺のまちづくりでは、隣接する開発地区ごとに異なる実施主体が事業を展開することを特徴としており、各地区の魅力を高めるエリアマネジメントの推進はもちろん、地区間の連携や中野駅周辺全域に波及するエリアマネジメントの仕組みづくりが求められている。

2 中野駅周辺におけるエリアマネジメントの考え方

(1) 基本的な考え方

各地区の開発事業者等が展開する「各地区のエリアマネジメント」と、各地区の開発事業者や地域の関係者等をつなぐプラットフォームとしての「中野駅周辺全域のエリアマネジメント」の二層構造とする。

○ 各地区のエリアマネジメント

(想定対象地区単位)

➤ 開発中地区

中野二丁目地区、中野三丁目地区、中野駅地区

➤ 開発予定地区

中野四丁目新北口駅前エリア（区役所・サンプラザ地区）、中野四丁目新北口西エリア（中野四丁目西地区）、囲町東地区、囲町西地区

➤ 既成市街地地区

中野四季の都市地区、中野五丁目地区 等

○ 中野駅周辺全域のエリアマネジメント

- 各地区の開発事業者や地域の関係者等による協議組織（以下、「協議会」という。）の設置検討
 - ・各地区間の情報共有、地域との意見交換、共通課題への対応検討 等

(2) 区の役割

- 各地区間、関係機関等の調整

- エリアマネジメントの調査・研究
 - 地域・経済団体等との連携
 - 国制度や規制緩和の活用検討、先進事例調査 等

- (仮)中野駅周辺エリアマネジメント推進の基本的な方針（以下、「方針」という。）のとりまとめ
 - 各地区のエリアマネジメントの誘導、支援のあり方
 - 中野駅周辺全域のエリアマネジメントの仕組み、進め方 等

- 協議会への関与、参画

3 今後の予定

今年度、区として方針をとりまとめ、次年度以降、協議会の設置に向けた検討を進める。